

ごみを買わない生活を

恵那市における平成18年度のごみ排出量は、約1万8千トンとなっており、これを市民一人当たりに換算すると、年間約320kgものごみを排出したことになります。

また排出されたごみを処理するために、約10億5千万円（一人当たり約1万9千円）という大きな経費がかかっていることや、最終処分場の切迫など、ごみの排出量削減は重大な課題となっています。

これ以上ごみを増やさないようにするために、今回は家庭から出るごみの約6割を占めるレジ袋・食品トレイ・ビール包装などの、容器包装の減量について、普段の買い物から考えてみましょう。

◆レジ袋や過剰包装は断る

すぐにごみになってしまうレジ袋や包装紙は断り、マイバックやふるしきなどを使うように心掛けましょう。

◆詰め替え可能な商品やリサイクル製品を選ぶ

シャンプー・リンスなどは詰め替え可能な商品を購入し、リサイクル製品やエコマークの付いた商品を購入するよう心掛けましょう。

◆必要以上に物を買わない

大安売りやセールでは、つい必要以上に買い過ぎてしまします。本当に必要な物を必要な分だけ買うようにしましょう。

◆長く使えるもの、修理可能なものを買う

せっかく購入するのであれば、なるべく長く使えるものや、修理可能なものを選び、買い替えが少なくなるよう心掛けましょう。



3月の不燃・資源ごみ収集日

町名	地区	収集日	町名	地区	収集日
大井町	1・14区 (正家後田含む)	3日	岩村町	本町、柳町、新道、江戸町	3日
	2・4区	4日		新市場、日の出、日の出三、殿町	4日
	3・13区	5日		西町、新町、朝日町	4日
	5・6区	6日		石畑、大根洞、一色、緑ヶ丘	5日
	7・8区	7日		領家、山上、大通寺、1～3区、上平、さつきヶ丘、八本木住宅、菅沼	6日
	9・10区	10日	山岡町	4～8区、旭ヶ丘、百合ヶ丘、下本郷	7日
	11・12区	10日		山田	10日
	中野(永田川東)	11日		田沢、久保原	11日
長島町	中野(永田川西)	12日		原、田代	12日
	正家(後田を除く)	13日	明智町	上手向、下手向、釜屋	13日
	大洞地区	14日		市場町、宮町、本町、常盤町	14日
	永田	17日		東山町、雇用促進住宅、友愛	17日
	久須見	18日		新井町、駅前町、滝坂住宅	18日
東野	全域	19日		新町、徳間町、向町、東町	19日
三郷町	野井	21日		的場町、片平町	21日
	佐々良木・棕実	24日	串原	門野、杉平、杉平2区、野志、大舟、小泉、吉良見	24日
武並町	竹折	25日		上・下柏尾、岩竹、安主、土助、才坂、上・下田良子、大栗、上田、阿妻、峰山、中切、高波、馬木、小杉、落倉	25日
笠置町	全域	27日		藤内、嵐、馬坂	26日
中野方町	全域	28日		中沢	25日
飯地町	全域	31日		全域(中沢を除く)	26日
			上矢作町	大馬渡	25日
				小笹原、島、達原、横道、飯田洞	27日
				本郷、木の実	28日
				漆原(大馬渡を除く)、下、小田子	31日

【3月の食用廃油(使用済んぶら油)の回収】

とき 3月8日(土)～10日(月)

市では食用廃油を回収し、バイオディーゼル燃料として再利用を進めています。お手持ちの容器から回収容器に移すだけです。リサイクルを始めませんか。



【3月の日曜リサイクル広場】

とき 3月16日(日)午前9時～11時(雨天中止)

ところ 市役所前駐車場

回収品目 紙類、古着、飲料缶、瓶類、ペットボトル、プラスチック類、食用廃油

医療情報トピックス

病院管理課 TEL 26-2111 (内線528)

人工透析施設を設置

岩村診療所では、地域医療の充実のため、平成21年度から人工透析20床を開設します。

このため、現在の入院機能の体制は3月末までの療養患者をもって中止とさせていただきます。来年度は施設改修と機器整備を実施します。

現在は、介護保険の認定を受けられた方数名を受け入れています。ご家族などへ説明を行い、順次、老人保健施設などへ移動していただくこととしています。

来年度の外来診療体制については、本年度と同様に実施し、訪問看護や往診なども引き続き行います。また平日夜間や休日の外来診療は、在宅当番医制により対応し、救急医療についても病院群輪番制(恵那病院・上矢作病院・中津川市民病院・坂下病院)で引き続き対応します。入院機能を人工透析機能に転化する施策については、市議会、自治連合会、診療所通信などで情報発信していますが、今後も診療体制や施設整備状況などについて、詳細が決まりましたらお知らせしますので、ご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ 病院管理課(内線528)

電子カルテを導入

市立恵那病院では、3月1日から電子カルテによる診察を行います。

現在、運用に向けて皆さんにご迷惑をお掛けしないよう、病院内でのリハールを行い、万全を期するよう努力しています。ご不明な点がありましたら、職員にお問い合わせください。また電子カルテ運用後の受診でお気付きの点がありましたら、お伝えください。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

◆電子カルテのメリットとは

検査値などがグラフ化され分かりやすくなる

電子カルテでは、過去に受けた血液検査などのデータがその場で確認できると同時に、前回データとの比較表や推移をグラフ化することで、より分かりやすい説明が受けられます。

待ち時間の短縮

今までの紙カルテによる診察は、受付後に患者さんのカルテが出され、受診する診療科にカルテが渡って診察を

受け、検査があればカルテを検査室へ、診療が終わったら会計に持って行き診療費の計算をするという、カルテ自体が患者さんと一緒に移動していく方法で行っていました。

電子カルテは、画面でカルテを検索し、担当科ですぐに受診する患者さんが把握できます。検査などは診察室から指示された内容が検査室で即座に分かり、検査を受けられます。診療が終了後、会計処理がすぐに行えます。

このように、患者さんの手間とカルテの移動時間の削減により、待ち時間が短縮されます。

質の高い医療を受けられる

電子カルテは、画面を通して医師や看護師、検査技師などスタッフ全員が患者さんの情報を共有することができ、このため現在の病歴、処方量、検査結果、体質など全員が把握でき、より安全で的確な医療を提供することができ、待ち時間の短縮も期待できます。

問い合わせ 市立恵那病院医事課

26-2121(代表)



医療用語の説明

お薬手帳

「お薬手帳」とは、服用したことのある薬について記録しておく手帳のことです。

薬の名前、処方量、服用方法、服用期間、副作用が生じた場合の内容、普段飲んでいるサプリメントや健康食品も記録します。

受診の際には、この手帳を医師に提示し、薬局では処方せんと一緒に提出すると、書かれた内容により、薬の飲み合わせに問題はないか、同じ薬が重複して処方されていないか、などを確認してもらえます。

また病院や薬局に行くときだけでなく、常に携帯しておくことで、地震などの災害が起きたときや緊急を要するときには、必要な薬が正確に分かるという非常に役立つ手帳です。

お薬手帳は、お近くの保険薬局でお求めください。